

令和5年度 第2回屋久島世界遺産地域科学委員会議論の整理

課 題		主 な 意 見	関 係 機 関	回 答 等
議事（2）	【資料2－2】 令和5年度世界遺産 地域モニタリング調 査等結果（環境省）	し尿処理適正化に関する専門部会での議論の概要を報告してもらいたい。ガバナンスを考えると議論の経緯は重要。（柴崎委員、土屋委員）	◎環境省	今後はこれらの進捗状況についても説明するようにしたい。
	【資料2－2】 令和5年度世界遺産 地域モニタリング調 査等結果（林野庁）	つる植物が高木の光合成や樹体維持に影響を及ぼすとあるが、つる植物は、暖温帯から熱帯雨林も含めて景観的にも重要で、多様性を豊かにしている。	◎林野庁	ご意見を踏まえ、記載の表現等注意していきたい。
議事（6）	【資料6－1, 2】 屋久島世界遺産地域 モニタリング計画改 訂（案）	状態目標については書きぶりに工夫が必要（松田委員、湯本委員）。目指すべき姿や指標にすべき項目等が分かり易いように記載する必要がある。環境省でもう一度検討してほしい（柴崎委員、矢原委員長）。	◎環境省	検討状況については 「議事(6)モニタリング計画改訂について」でご説明する。
		水質測定の実施地点が汽水域にあるため、世界遺産の観点から淡水域でモニタリングしたらどうか。（荒田委員）	◎鹿児島県	
		基礎的環境情報の指標を明確にした方がよい。どのような指標でモニタリングをしていくか。平均値だけでなく変動の変化等、幾つか指標がある。（矢原委員長）	◎環境省 ◎林野庁 鹿児島県	
		基礎的環境情報の中で音の測定もした方がよい。（柴崎委員）	◎環境省	
		スギ天然林の現状把握については、従来の空中写真ではなく、ドローンや衛星情報を活用した方がよい（寺岡委員、湯本委員）。全域計測するなら航空レーザを使った方がよい（寺岡委員）。	◎林野庁	
		スギ天然林の動態把握について、研究者の調査プロットが5箇所あるので活用した方がよい（寺岡委員、矢原委員長）。	◎林野庁	
		どこかで森林の三次元モデルを作り、それを10年に1回か20年に1回モニタリングして評価するのはどうか（矢原委員長）。	◎林野庁	
		スギ天然林については減少だけでなく拡大部分も調査してほしい（荒田委員）。	◎林野庁	
		評価基準に記載のある「好ましくない」について、判断基準を明確にする必要がある（土屋委員）。	◎環境省	
		評価指標7は写真撮影ではなくドローンを活用して面積を見る等、使える技術を使って指標を具体化する必要がある（湯本委員）。	◎環境省	
		優れた自然景観資源についてどんな指標でモニタリングできるか具体化した方がよい（矢原委員長）。	◎環境省	
		斜面崩壊も悪い面のみでなく、森の再生の契機となり、把握しておく必要がある（湯本委員）。	◎環境省 ◎林野庁	

課 題		主 な 意 見	関 係 機 関	回 答 等
		ヤクシカの項目には捕獲努力量や、狩猟者数・被害金額等の社会経済的な評価指標も入れる必要がある。また食肉利用等の状況把握も入れるべき（柴崎委員）	屋久島町 環境省 林野庁 鹿児島県	
		希少種や外来種等のところで淡水魚の多様性についても検討してほしい（荒田委員）。	◎環境省 鹿児島県	
		日本全国で4キロメッシュごとに植生調査等を調査項目の中に表示できないか（荒田委員）。	◎環境省	
		ハベマメシジミの記載について評価指標16の評価基準にあるが、評価指標(22)にもあるので必要ないのではないかと（鈴木委員）。	◎林野庁	
		ハベマメシジミだけが指標ではないので、植物等を含めた湿原の状態の指標に具体化してほしい（矢原委員長）	◎林野庁	
		評価指標18～20について、暫定的にある年の利用者数等を基準にした評価は可能ではないかと（土屋委員、柴崎委員）。	◎環境省 林野庁 鹿児島県	
		評価指標21の携帯トイレ利用者数を他と統合してなくすのは反対。使用率等を基準にして残すべき（土屋委員）。	◎環境省	
		評価指標23について頻度が5年毎となっているが、山岳部ビジョンの見直しにかかる総合判断と解釈してよいか（土屋委員）。	◎環境省	
		評価指標(27)のリスク把握は利用者がするのか行政なのか明確にすべき。外国人客のルールの認知度も重要な指標（松田委員）。	◎環境省	
		評価指標20の自然休養林の施設利用者数について協力金の収益額を指標として入れたらどうか（柴崎委員）。	◎林野庁	
		評価指標(32)に交通機関等の情報などもあるとよい。島外から来れる最大人数等の計算もできるのではないかと（柴崎委員）。	◎環境省 屋久島町	
		屋久島憲章に対する地域住民の意識も入れたらどうか（荒田委員）。	◎環境省 屋久島町	
議事（7）	【資料7－4】 屋久島湿原流水分散対策について	熊ノ平の湿原での保全対策を祠への侵食対策でも参考にしてほしい。（荒田委員）	◎環境省	ご意見を踏まえ、参考にしていきたい。
議事（8）	【資料8－2】 屋久島世界自然遺産登録30周年記念シンポジウム（報告）	5つの世界自然遺産から見た屋久島の議論が必要。ソフトな新しい保護形態ができてきている中で、自然遺産や国立公園を見直し、国土全体や社会の中で何が必要か考える必要がある。（小野寺委員）	環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町	ご意見を踏まえ、参考にしていきたい。

※委員会での回答は黒字、委員会後の追記は青字で記載